

【 第8回 ユースアジア選手権 】

2018年9月16日～9月26日 開催地:ヨルダン

試合結果報告 9月20日 (木)

JPN	VS	BRN
14	前半	8
9	後半	19
23	合計	27

個人得点

名前	得点	合計
1 石 濱 壘	1	1
2 佐 藤 陽 太		0
4 可 児 大 輝	2	2
6 窪 田 礼 央	1	1
7 安 平 光 佑	5	5
8 清 水 裕 翔		0
9 吉 田 守 一		0
11 藤 川 翔 大	1	1
12 矢 村 裕 斗		0
14 山 口 直 輝		0
15 石 嶺 秀		0
17 朝 野 翔 一 郎	2	2
18 梶 山 瑞 生	5	5
20 石 田 知 輝	2	2
21 角 陸 輝		0
25 蔦 谷 大 雅	4	4
		23

戦評

メインラウンド一回戦は、今大会直前に親善試合を行ったバーレーン。親善試合では、バーレーンの力強く組織的なOFを守りきることができず、連敗している。日本チームはDFの約束事を徹底し、OFでは人とボールを動かしながら前を狙うことを確認して試合に臨んだ。

バーレーンボールでスローオフ。開始直後から日本セブンの闘志あふれるDFでバーレーンOFを遮断、それを速攻につなげて連続得点を奪う。バーレーンに与えた7mTもGK矢村がごとくシャットアウトし、前半10分で7-0とリードする。その後もCB安平のクイック、RW梶山のサイドで加点し、前半を14-8で折り返した。

後半に入るとバーレーンは点差を詰めるべく、積極果敢に日本ゴールを襲う。日本は消極的なOFからミスが続き、頼みのDFでも前半のような積極性がなく、失点を重ねてしまう。後半10分までに5連取を許し、16-16の同点に追いつかれてしまう。日本はLW可児の回り込み、CB石田のミドルで再びリードするも、その後7連取され、25分には20-25と5点のリードを許してしまう。日本は、RW梶山のサイド、GK石濱が直接ゴールを奪うなど、意地を見せるも最終スコアは23-27で敗れた。

明日の対戦相手は地元ヨルダン、世界選手権の出場権を獲得するためには負けられない一戦である。選手、スタッフ一丸となってしっかりと準備をして戦いに臨みたい。

報告記入者 :

吉田耕平